

観光社会資本の事例

テーマ	火山噴火災害と観光
[施設の状況写真]   北海道、洞爺湖町の洞爺湖温泉に施工された西山川遊砂地には、火山災害の凄まじさや砂防施設の役割等、火山防災の啓発を図るため噴火遺構を保存している。遊砂地下流端のえん堤天端から、噴火遺構、砂防施設、2000 年火口を一望することができる。	
[施設の利用写真]   砂防えん堤天端に設けられた展望施設から遊砂地内を見学する観光客。 洞爺湖温泉児童を対象とした現地見学会の様子。	
[観光資源としての利用状況] 2000 年 (平成 12 年) 3 月の有珠山噴火は、北海道有数の観光地である洞爺湖温泉街の観光業とその関連産業に甚大な被害を与えた。(旧虻田町観光客入り込み数 平成11年度 356 万人 →平成12年度 127 万人 →平成16年度 318 万人) 北海道では、観光地を泥流災害から保全するため西山川遊砂地を整備している。 遊砂地の整備にあたっては、エコミュージアム構想 (観光振興構想) 等と連携・協力し、火山災害の凄まじさや砂防施設の役割等、火山防災の啓蒙を図るため、遊砂地内に噴火遺構を保存、遊砂地周辺を観光資源として利用している。	

テーマ	火山噴火災害と観光
[社会資本の基礎データ] ○名称 西山川遊砂地 ○所在地 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉 ○事業名 火山砂防激甚災害対策特別緊急事業 ○事業主体 北海道 ○事業期間 平成13～16年	
[社会資本の役割・効果] 土砂災害防止効果 2000年の有珠山噴火に伴い、西山川流域では、流域の不安定土砂量が著しく増大したため、下流洞爺湖温泉街を保全する目的で、遊砂地を整備、土砂流出の防止を図っている。	
[位置図]  「国土地理院発行の2万5千分の1地形図(虻田)」	
[関連ホームページ] 旧虻田町ホームページ http://wbsv.town.abuta.hokkaido.jp/touya/contents/miru/top.html	